

令和2年度

事業計画

自：令和2年4月 1日

至：令和3年3月31日

一般社団法人 まちづくり伊達

令和2年度（第5期）一般社団法人 まちづくり伊達 事業計画について

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

健幸に満ちた誇れる地域を目指し、活力と賑わいのある地域づくり、まちづくりのための事業を市民と行政、民間団体との連携の元を実施する。

なお、新型コロナウイルス感染症防止対応や新しい生活様式の取り組みを行い推進する。

- 1 官民連携まちなか活性化事業
- 2 官民連携まちなか再生社会実験事業
- 3 官民連携まちなか再生推進事業
- 4 健幸に満ちた誇れる地域づくり・まちづくり事業

1 官民連携まちなか活性化事業

地域住民や商店街をはじめとした関係団体と誇れる地域創出のために、まちなかを活性化するための方策や事業等を検討し実施する。

(1) 復興道路と新たなまちづくり事業

- ・復興道路の開通で益々重要性が増す国道399号沿線の農業を活用したまちづくりを進めるための研修や講演会を開催する。
- ・伊達川東地区協議会と連携して各種事業を検討し推し進める。

(2) 商店街イベント事業

- ・イベントによる商店街への集客UPを図るため、商店街の行う盆踊りや年末年始の天王初市事業を支援実施する。

また、中央商店会の既存事業や市民からも好評の伊達マルシェ事業等も関係団体と協議し実施する。

特に、イベントと各個店の創意工夫がマッチするよう工夫した事業を検討し実施する。

- ・伊達町中央商店会と他の天王通り商店街や伊達地域の各個店が結び付く効果的なイベント事業を検討し実施する。
- ・まちなか原っぱのイベント事業から商店街への買い物へと連携できるような仕組みを検討し実施する。
- ・商店街環境美化の支援や集客アップ看板を活用した各商店の創意工夫を支援する。

(3) 起業者や後継者の育成事業

- ・事業主や後継者、起業希望者向けに先進事例や各種情報提供を行い、有識者を招き研修会を開催し人材の育成を図る。(賀詞交換会)
- ・商店街において閉店している店舗について、賃貸によって開店が可能となるか調査を進め新規就業、新規開店を目指す。(店舗活用による集客)
- ・若者が魅力を感じる商店街となるよう、若者によるチャレンジショップの開設を目指した調査検討をする。

2 官民連携まちなか再生社会実験事業

まちなかの賑わいを創出するため、仮称「ママのマ」の建設に向け、まちなか原っぱや公共用地、商店街周辺地を活用した事業を連携して進め、地域住民が気軽に訪れ、買い物を楽しみ、商店街を回遊できる地域・商店街とするための様々な社会実験を行う。

(1) 「まちの駅」運営事業（空き店舗活用事業）

- ・まちの駅の認証を得た現在の施設において、市民が楽しみ、会話し、休憩できる場所、情報の発信や交流ができるような仕組みづくりを更に進める。
(幼児・こどもの溜まり場、子育て環境の充実のための事業検討)

(2) まちなかカフェ「ふらっと」の運営と事業者支援

- ・まちなかカフェ「ふらっと」で営業する起業希望者の支援を行う。
(社団は場所や機材を貸し、経営は参加者の責任で行う。)
- ・地元の野菜や果物を利用するなどした民間レベルの運営を目指す。

(3) 天王市事業

- ・初売りを「天王初市」と位置づけし、ものづくりや地域の新鮮な野菜の販売などの「市」の開催も行い、「天王市」を地域のブランドとしていく。

(4) まちなか原っぱ事業

- ・元伊達公民館敷地を芝生化し隔週遊具を配置し、子どもたちが伸び伸びと遊び、保護者が商店街まで回遊できるような事業を行う。
- ・仮設トイレの設置により天王通り商店街におけるイベント等に多く利用されるよう美化に努める。

3 官民連携まちなか再生推進事業

「伊達地域まちづくり基本計画」に基づく、基本構想・アクションプランにより

天王広場、天王通り商店街の空き地活用とまちなか高齢者住宅についてその具現化策を検討する。

(1) 地域を繋げるソフト事業

- ・まちなか再生の要素でもあるハード事業だけでなくそれを繋げるソフト事業についても研究・検討する。(共生社会の醸成)
- ・子どもたちが地域を誇りと思えるよう、この街の歴史や文化を分かりやすく伝える事業等を関係団体と協議して行う。(地域の歴史を紙芝居化)
- ・地域における地域づくり団体のNPO法人伊達西地区自治協議会と連携した地域づくり事業を検討し・実施していく。

(2) 天王広場事業

- ・長岡天王祭の歴史・伝統の地域特性を備えたこの地域の、「まちなか原っぱ」、「天王通りの結束空地」、「福島信用金庫伊達支店」周辺の利用形態を考慮し、官民連携による準公共施設などの拠点施設などと併せ、地域のシンボリック「天王広場」の創設を目指す。

(3) まちなか高齢者住宅事業

- ・歩いて買い物ができるような天王通り商店街を目指し、商店街周辺に官民連携のまちなか高齢者住宅の建設を目指す。

また、高齢化により買物が困難な者等への各種の高齢者サービスについても調査・検討する。

(4) 市の計画及びまちなか再生事業の推進

- ・事業説明を行うなど、市民意向の把握と反映のため、地域へのアプローチを深化させる。

4 健幸に満ちた誇れる地域づくり、まちづくり事業

市民の意見反映から行動へのプロセスが重要であることから、若者や新住民も巻き込み、地域住民等や地域関係機関、行政からの要望事業で当社団の目的に沿う事業等について調査検討する。

(1) 地域の桜の名所を巡り地域の再発見をし、健幸意識を高揚する。

(2) 伊達駅周辺の整備に伴うJRの玄関口としての伊達駅の観光案内やイベント等を伊達市や駅なかプラザ直売所と協議して進める。(公共施設の管理)

《具体的な事業内容》

1 官民連携まちなか活性化事業

(1) 復興道路と新たなまちづくり事業

- ・農産物の六次化に向けた取り組みへの支援
- ・まちづくり講演会等の実施

(2) 商店街イベント事業

- ・伊達町中央商店会等の行う夏祭りや年末年始の天王初市事業を支援する。
- ・伊達町中央商店会等の感謝市事業の支援。
- ・伊達マルシェ事業等の支援。
- ・商店会と他の個店が結び付く効果的なイベント事業の実施。
- ・まちなか原っぱ事業と連携できるような事業の実施。
- ・商店街環境美化の支援や集客アップ看板による各商店の創意工夫を支援する。

(3) 起業者や後継者の育成事業

- ・事業者、起業者への研修会や各種情報提供と情報交換の実施。(賀詞交換会)
- ・閉店店舗の賃貸可能調査を行い、新規開業等を支援する。(店舗活用集客)
- ・若者によるチャレンジショップ等の開設調査や検討を行う。

2 官民連携まちなか再生社会実験事業

(1) 「まちの駅」運営事業

- ・まちの駅運営管理事業。(施設照明改修の検討)
- ・特色ある交流拠点事業の検討。(幼児・こどもの溜まり場、子育て環境充実のための事業)

(2) まちなかカフェ「ふらっと」の運営と事業者支援を行う。

- ・カフェ事業者の事業支援。(繁盛店視察や経営理論等の支援)
- ・民間レベルのカフェ運営支援。(菓子製造や惣菜提供施設整備の検討)
- ・ホームページなどによる情報発信。
- ・カフェの多用途利用の模索と実験。(夜間の活用や貸席としての利用)
- ・カフェ周辺的环境整備(駐車場からの進入口の検討)

(3) 天王市事業

- ・初売りを天王市とし、天王市の定期的開催の模索。
- ・商店会のフリーマーケット事業等の支援。

(4) まちなか原っぱ事業

- ・「原っぱd e ランラン」事業の推進。(月2回遊具の貸与によるイベント)
- ・天王通り商店街のイベントによる仮設トイレの有効活用に努める。
- ・原っぱと商店街が連携できる事業を検討し実施する。

3 官民連携まちなか再生推進事業

(1) 地域を繋げるソフト事業

- ・まちなか再生の要素でもあるハード事業だけでなく、それを繋げるソフト事業についても検討し実施する。(共生社会の醸成、ママノマの完成を見据えた事業や団体・グループの養成を図る。)
- ・子どもたちが地域を誇りと思えるよう、この街の歴史や文化を分かりやすく伝える事業等を関係団体と協議して行う。(地域歴史の紙芝居作成等)
- ・地域における地域づくり団体のNPO法人伊達西地区自治協議会と連携した地域づくり事業の検討・実施。
- ・地域の風景等を撮影するフォトコンクールを実施し広く市民に広める。(天王祭や桜の写真展を行う。)

(2) 天王広場事業

「まちなか原っぱ」、「天王通りの結束空地」、「福島信用金庫伊達支店」周辺の利用形態を考慮し、官民連携による準公共施設などの拠点施設などと併せ地域のシンボリック「天王広場」の創設を目指す。

(3) まちなか高齢者住宅事業

- ・歩いて買い物ができるように商店街周辺に官民連携によるまちなか高齢者住宅の建設を目指す。
- ・高齢化により買物が困難な者等への各種の高齢者サービスについても調査・

(4) 市の計画及びまちなか再生事業の推進

- ・市民意向の把握と反映のために地域アプローチの深化事業。

4 健幸に満ちた誇れる地域づくり、まちづくり事業

(1) 地域の桜の名所を巡り地域の再発見をし、健幸意識を高揚する。

(2) 伊達駅周辺の整備に伴うJRの玄関口としての伊達駅の観光案内やイベント等を伊達市や駅なかプラザ直売所と協議して進める。(公共施設の管理)

1 一般社団法人まちづくり伊達の設立から現在まで

当初、当社団の目標としてきた下記の大きな案件については、その方向性などが整理されてきた。

また、取り巻く環境の変化により、その目標も変化してきている。

このような中で、行政や関係団体等と協議しながら、社団の役割を果たせる事業等を今後実施していくことが必要である。

- ①商店街の活性化
 - ・伊達町中央商店会と加入していない商店との融合により天王通り商店街として各種の事業を展開中である。
 - ・各個店の魅力を出すことに努めている。
 - ・空き店舗を利用し、まちの駅を運営している
 - ・市民要望が多かった「まちなかカフェ」を運営し営業中である。

- ②旧公民館跡地の活用
 - ・芝生化による「原っぱ de ランラン」事業を展開中である。
 - ・拠点施設（ママのマ）の計画案を策定した。
 - ・仮設トイレを設置し、イベント等で利用している。

- ③天王広場の創設
 - ・天王広場構想を策定した。
 - ・取り巻く環境の変化により社団事業としている。

- ④まちなか高齢者住宅
 - ・まちなか高齢者住宅構想は策定した。
 - ・取り巻く環境の変化により社団事業としている。

2 令和元2年のまちづくり伊達事業

令和元年度までの事業を継承し、計画中の事業等をより具現化するための事業を展開していくが必要である。

官民連携の推進やSDGsによる新たなまちづくりの視点を取り入れ、地域づくり団体や各種団体と協議を重ね、健幸で住みやすい地域づくりを進めなくてはならない。

3 令和2年のまちづくり・地域づくり重点事業

1) 新たな地域づくり事業の検討

- ①共生社会の醸成（どうも券事業の研究・検討）
- ②歴史を知り、地域に誇りを持つ事業（地域歴史の紙芝居化）
- ③公共施設の管理運営（伊達駅における観光案内）
- ④地域団体等との連携強化（事務の請負等の調査検討）
- ⑤官民連携の推進とSDGsによるまちづくりの研究

2) 地域の賑わいの創出

- ①賑わいのある「まちの駅」の運営（幼児・こどもの溜まり場）
- ②商店街の活性化（各種イベント・個店の工夫）
- ③まちなかカフェ「ふらっと」の充実（周知宣伝・夜間営業）
- ④空き店舗等の活用（店舗活用による集客）

3) 原っぱ利用の拡充

- ①(仮)ママのま計画のソフト事業の発掘と運用
- ②原っぱを利用したイベント等の開催
- ③原っぱと商店街連携イベントによる地域活性化を模索する
- ④原っぱ周辺的环境美化

4) 事業の調査・検討

- ①高齢者サービス事業等の検討（上記1の①とも関連）
- ②子育て環境充実のための事業検討（LfMとの連携）
- ③高齢者住宅の構想・計画（計画素案を策定済）
- ④天王広場の構想・計画（計画素案を策定済）